報 道 発 表 資 料
平成 28 年 11 月 14 日
気　　象　　庁

ひまわり 8 号を用いて海面水温分布図を高精度・高解像度化します

11 月 15 日(火)より、気象庁ホームページ「海洋の健康診断表」で公開している北西太平洋域の海面水温分布図を、ひまわり 8 号を用いて高精度・高解像度化します。

気象庁では、海洋変動監視のため、人工衛星、船舶、ブイ等による観測データを用いて、海面水温の解析を行っています。

今般、静止気象衛星ひまわり 8 号による高分解能・高精度の海面水温データを用いた北西太平洋域の海面水温解析手法を開発しました。新しい海面水温解析は現行の解析と比べて、より詳細かつ正確な水温分布が把握できるようになりました。この解析値を元にした海面水温の分布図を平成 28 年 11 月 15 日より気象庁ホームページ「海洋の健康診断表」で公開いたします。

平成 28 年 5 月 25 日に公開を開始した「静止気象衛星ひまわりによる海面水温画像」と併せ、水産業や海運業等での利用が見込まれます。

【気象庁ホームページでの掲載ページ】

海洋の健康診断表

http://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/shindan/index.html

「海面水温」 >「分布図」の海域名を選択してご覧ください。

高度化する図

- ✓ 北西太平洋、日本近海、親潮域、黒潮域、東シナ海、日本海の日別海面水温分布図、旬、月平均海面水温分布図
- ✓ 定期診断表（旬、月）の海面水温分布図

【本件担当】気象庁　地球環境・海洋部　海洋気象課　海洋気象情報室
電話　03-3212-8341　内線 5166

（別紙）

新しい北西太平洋域の海面水温解析

図は、黒潮域の海面水温の分布図（平成 28 年 3 月 30 日）です。右中の図が今般開発した北西太平洋の海面水温解析による分布図、左中の図がこれまでの解析による分布図です。新しい海面水温解析では、遠州灘に暖水が流入している様子がみられます。ひまわりによる海面水温画像でもその様子が捉えられていますが、雲等による欠測が多く不明瞭です。平年差の図では、遠州灘の暖水域が平年より 1～2℃高いことがわかります。

このように、ひまわり 8 号により空間的にも時間的にも詳細な海面水温データが得られるようになったことから、より高精度で高解像度な海面水温の分布図の公開が可能となりました。

表　海洋の健康診断表で公開している海面水温の種類と仕様

	新しい 海面水温解析	これまでの 海面水温解析	（参考）ひまわりによる海面水温画像
水平解像度	0.1 度	0.25 度	0.02 度
作成頻度	1 日 1 回	1 日 1 回	1 日 2 回
データの種類	解析	解析	観測 （雲等による欠測あり）

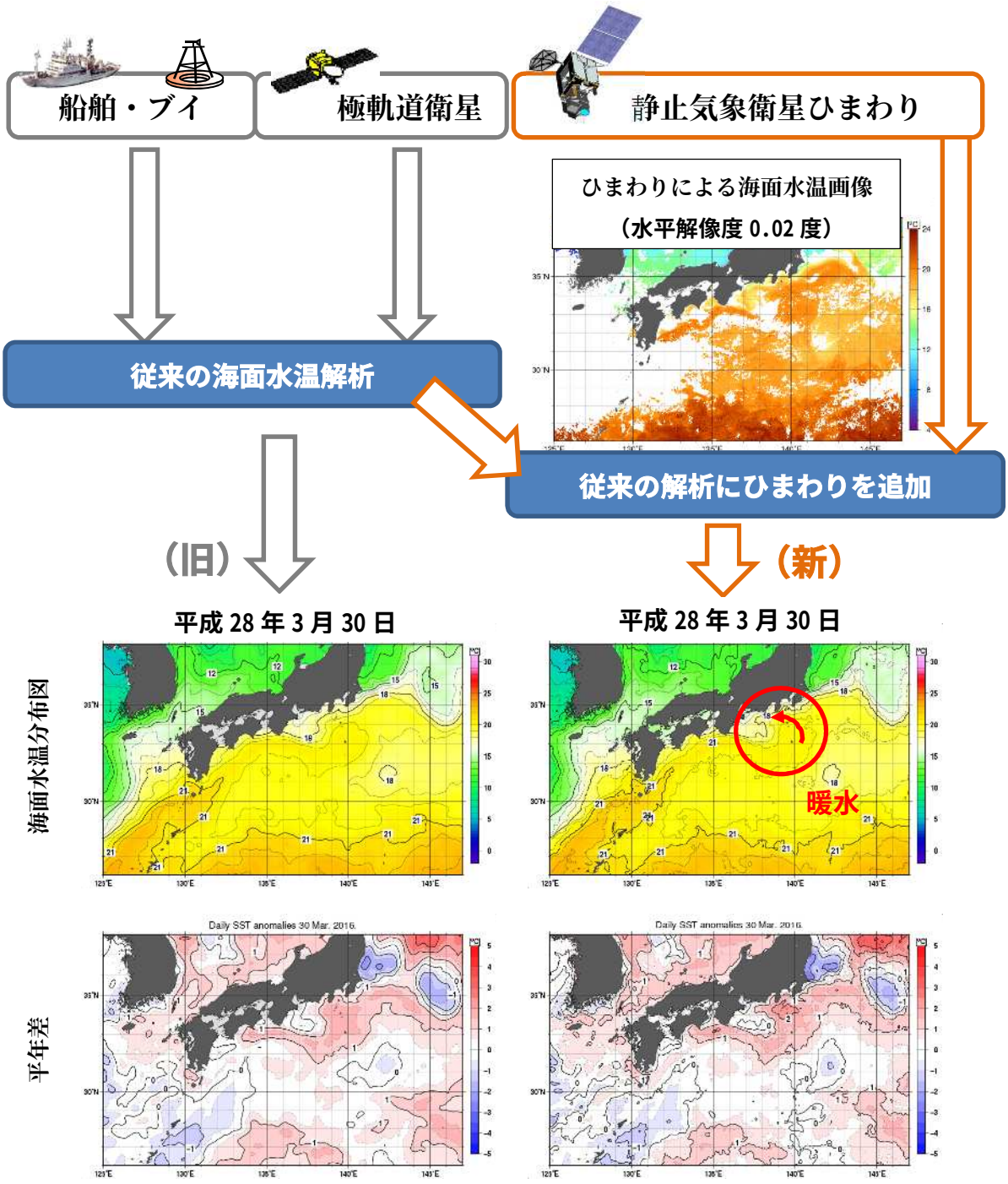

図 1　黒潮域の海面水温分布図と平年差（平成 28 年 3 月 30 日）

新しい海面水温解析の分布図では、遠州灘に 18℃以上の暖水が流入している様子がみられます。ひまわりによる海面水温画像でもその様子が捉えられていますが、雲等による欠測が多く不明瞭です。

平年差（1981 年から 2010 年までの 30 年平均値からの差）の図では、遠州灘の暖水域が平年より 1～2℃高いことがわかります。